

研究課題名	深層学習を用いた脊柱側弯症の診断・治療補助ツールの開発	
研究の意義・目的	初診時および術前の患者情報と結果（教師データ）を畳み込みニューラルネットワークに入力し予測式を導き出すことで、側弯症の進行度の予測や矯正手術後の画像上の手術結果を予測することを目的としています。 本研究は、新潟大学大学院保健学研究科に情報を提供します。	
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ～ 2028年3月31日	
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2010年1月～2028年3月に大阪公立大学医学部附属病院へ、脊柱側弯症のため受診された方が対象となります。	
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【傷病名、通常の診療に用いる問診票、採血結果、骨密度、単純X線、CT、MRIの画像データや術中に計測した解離操作のデータ】	
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	公立大学法人大阪 理事長 福島 伸一	
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報	
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	研究責任者 氏名：関 庄二 研究機関名：国立大学法人 富山大学	
試料・情報を利用す る者の範囲	研究代表機関：国立大学法人 富山大学 研究責任者所属・氏名： 整形外科 関 庄二 共同研究者： 新潟大学大学院保健学研究科 放射線技術科学分野 李 鎔範 杏林大学医学部附属病院 整形外科 細金直文 新潟大学医歯学総合病院 整形外科 渡辺 慶 浜松医科大学附属病院 整形外科 大和 雄 金沢大学附属病院 整形外科 出村 諭 信州大学附属病院 整形外科 大場悠己 大阪市立総合医療センター 整形外科 松村 昭 浜松医科大学附属病院 整形外科 有馬秀幸 自治医科大学附属病院 整形外科 菅原 亮 東京大学附属病院 整形外科 土肥 透 杏林大学医学部附属病院 整形外科 竹内拓海 慶應義塾大学病院 整形外科 鈴木悟士 獨協医科大学病院 整形外科 上田明希 大阪公立大学医学部附属病院 整形外科 高橋真治	

	筑波大学附属病院 整形外科 朝田智之
試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	研究代表機関：国立大学法人 富山大学 研究責任者所属・氏名： 整形外科 関 庄二
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 (担当者氏名) 高橋真治 電話番号：06-6645-3851 メールアドレス：gr-med-seikei@omu.ac.jp